

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	プロジェクトマネジメント論 (Project Management)		
ナンバリングコード	E30210	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E048851	クラス名	-
担当教員名	泉 丙完		
履修上の注意、 履修条件	教わるだけでなく、自ら新たな新製品開発プロジェクトを提案できること。 講義では携帯・私語は厳禁 ただし、演習では活発に討議や発表に参加すること		
教科書	参考資料配布		
参考文献及び指定図書	「プロジェクトマネジメント」長尾清一著 (ダイヤモンド社) 「VEとTRIZ」澤口学著 (同友社)		
関連科目	経営学入門、情報メディアとビジネス、eビジネスマーケティング論、インターネット広告論、eビジネス経営論		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	新たな新製品開発のプロジェクト立上げに意欲があること。	20点	10点	
【知識・理解】	将来、新製品開発プロジェクトマネージャになるための基礎知識	20点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	新製品開発プロジェクト運営委のためのコミュニケーション能力を有する。			20点
【思考・判断・創造】	講義、演習を通して新たな新製品開発プロジェクトの提案をイメージできる。			20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
新製品開発プロジェクト提案の発表と最後の総合テストの総合評価による。また、出席状況・受講態度も考慮する。グループ単位での新製品開発プロジェクト提案の発表する。
プレゼンについては授業中において評価、講評等を行い、レポートについては評価の上、本人に後日フィードバックする。

○基本情報							
授業の目的	新製品開発における成否は、新製品開発のプロジェクトマネージャに大きく依存する。本講義の目的は、新製品開発のプロジェクトを立ち上げるにあたり、プロジェクトマネージャーとして各要素を適切に管理・運用するための知識や技術を習得することである。また、本講義においては、知識を習得するだけでなく、グループ毎に具体的な製品開発提案や疑似運用を行い、ディスカッションを通して実践的なプロジェクトマネジメントの疑似的に経験するねらいもある。						
授業の概要	本講義では、他社に対し優位に立つために、市場と顧客、製品とサービス、提供方式をうまく位置づけ、新たなアイデアの発想、スケジュール管理、リスクや契約の管理、外部関係者との交渉を学ぶ。 具体的には、いくつかのグループに分かれ、具体的な製品を対象に、講義で学んだ手法を基に、新たな製品開発提案を行い、各グループでディスカッションを行う。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「グループワーク」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	泉丙完 本授業のITビジネスに関連し、三菱電機(株)でIT関連の技術開発に従事する。 また、製造業に関連し(株)泉精器製作所で開発製造に従事する。						

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	プロジェクトマネジメント論（Project Management） 泉 丙完	授業コード	E048851
学修内容				
1. プロジェクトマネジメント概説、産業技術概要、商品企画の位置づけ、グループ分けとテーマ商品の選定。				
予習	「プロジェクトマネジメント」pp.26～37 調査			約2時間
復習	「プロジェクトマネジメント」pp.26～37 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
2. 市場環境分析手法について学び、グループ単位でテーマ商品に関する市場分析、戦略を検討する。				
予習	「プロジェクトマネジメント」pp.38～51 調査			約2時間
復習	「プロジェクトマネジメント」pp.38～51 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
3. グループ単位での市場マクロ環境分析結果発表、ディスカッションを行う。				
予習	「プロジェクトマネジメント」pp.52～64 調査			約2時間
復習	「プロジェクトマネジメント」pp.52～64 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
4. QFDによる品質機能展開手法について学び、グループ単位でテーマ商品に関する品質機能展開手法の演習を行う。				
予習	「プロジェクトマネジメント」pp.65～79 調査			約2時間
復習	「プロジェクトマネジメント」pp.65～79 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
5. グループ単位でのQFD検討結果の発表、ディスカッションを行う。				
予習	「プロジェクトマネジメント」pp.80～95 調査			約2時間
復習	「プロジェクトマネジメント」pp.80～95 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
6. 製品の原価構成やVEによる原価低減/価値向上手法について学び、グループ単位でのテーマ商品でのVE演習を行う。				
予習	「プロジェクトマネジメント」pp.96～108 調査			約2時間
復習	「プロジェクトマネジメント」pp.96～108 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
7. グループ単位でのVEの検討結果の発表、ディスカッションを行う。				
予習	「プロジェクトマネジメント」pp.109～124 調査			約2時間
復習	「プロジェクトマネジメント」pp.109～124 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
8. TRIZによる商品アイデア発想手法について学び、グループ単位でのテーマ商品での演習を行う。				
予習	「プロジェクトマネジメント」pp.125～145 調査			約2時間
復習	「プロジェクトマネジメント」pp.125～145 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	プロジェクトマネジメント論（Project Management） 泉 丙完	授業コード	E048851
学修内容					
9. グループ単位でのTRIZに基づくアイデア検討結果の発表、ディスカッションを行う。					
予習		「プロジェクトマネジメント」pp.147～159 調査			約2時間
復習		「プロジェクトマネジメント」pp.147～159 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
10. 商品評価決定について学び、グループ単位でのテーマ商品での演習を行う。					
予習		「プロジェクトマネジメント」pp.160～168 調査			約2時間
復習		「プロジェクトマネジメント」pp.160～168 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
11. グループ単位での商品評価決定の検討結果の発表、ディスカッションを行う。					
予習		「プロジェクトマネジメント」pp.169～189 調査			約2時間
復習		「プロジェクトマネジメント」pp.169～189 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
12. 商品企画を行うために必要な知財に関する基本事項を学ぶ。					
予習		「プロジェクトマネジメント」pp.190～208 調査			約2時間
復習		「プロジェクトマネジメント」pp.190～208 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
13. 生産管理について学び、具体的な事例による演習を行う。					
予習		「プロジェクトマネジメント」pp.209～229 調査			約2時間
復習		「プロジェクトマネジメント」pp.209～229 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
14. 生産管理についての全体発表、ディスカッション。					
予習		「プロジェクトマネジメント」pp.230～238 調査			約2時間
復習		「プロジェクトマネジメント」pp.230～238 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
15. 授業内容の確認、提出レポートの確認。					
予習		「プロジェクトマネジメント」pp.238～251 調査			約2時間
復習		「プロジェクトマネジメント」pp.238～251 に関連する具体的な事例のまとめ			約2時間
16. 試験により、学習内容の習得状況の確認する。					
予習					
復習					